



第1127号
2009年6月14日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

WEB: http://www.nskk.org/tokyo/index.htm E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇6月の代祷・信施奉献先
▽野宿生活者の休息施設のため
(きぼうのいえ)▽東京教区神学生のため(聖霊降臨後第2主日6・14)▽沖縄教区のため▽沖縄週間(6・21〜27)▽エリザベスサンダースホームのため

◆教役者レクイエム
6月17日(水) 10時半

主教座聖堂

説教 今井丞治司祭
▽伝道師梅本惣吉▽司祭秋山基一▽伝道師山口千里▽司祭山縣与根二▽司祭東信行▽司祭山縣雄杜三▽司祭伊木久次郎▽司祭宅間信基▽司祭寺井俊健▽伝道師山田チヨ▽司祭堀正一▽司祭山崎正雄▽司祭大野俊朗

◇堅信受領

5月17日 小金井聖公会
▽所和馬▽吉野佐紀(小金井)
5月24日 主教座聖堂
▽半田孝太(諸聖徒)▽宮川恵美
▽宮川真央▽金澤伸子(神田)
▽若島伸治(聖マリヤ)▽小野寺とみ子(聖救主)▽鈴木和子▽鈴木妙子▽村山裕海▽大西公子(目白)▽徳方宣子(聖ルカ)▽田邊加奈子▽谷村香(三光)▽大久保吉陸(聖アンデレ)
5月31日 聖マーガレット教会
▽添野知佳▽岡崎史子(立教女学院聖マーガレット礼拝堂)
▽新妻靖彰▽新妻朋子▽新妻夏奈▽名和田トシ(聖マーガレット)
6月7日 聖アンデレ教会
▽後藤彩文▽林大耀(聖アンデレ)

今週・来週の予定

6月14日~27日

- 14(日) 聖霊降臨後第2主日
主教巡回
聖バルナバ教会
- 15(月) エ教区協働委員会
常置・聖教主福社会会合
財政委員会
主教会(〜18)(ナザレ)
- 16(火) 人権委員会(聖バルナバ)
IT特別委員会
教役者レクイエム
- 17(水) 礼拝音楽委員会
教役者待遇調査委員会
墓地礼拝主任(丸・君が代)
- 18(木) 聖霊降臨後第3主日
主教巡回
大森聖アグネス教会
外濠G講演会(聖バルナバ)
- 21(日) 教会音楽祭
(東京カテドラル)
- 22(月) 教役者研修会(〜24)
- 23(火) 銀座朝拝会
- 25(木) 信仰と生活委員会
月島等将来計画準備室

〔掲載記事の転用可(事前連絡要)〕

3月2日、突然驚愕するようなニュースが飛び込んできた。

北アルプス唐松岳で起こった滑落事故のために、立教女学院の短大職員であるNさんが、山頂付近で救助を求めて待機しているという知らせであった。しかも現在、救助隊が搜索を断念するほどの悪天候のために、救援活動が極度に困難な状況にある、とのことであった。

翌日の朝、私たちの切なる祈りと願いにもかかわらず、携帯電話を首にかけて山の斜面に倒れていた彼が発見された、との連絡を受けた。Nさんの45年間の生涯の歩みは、神のみ手に委ねられることになった。どこに神のみ手があるのだろうか。そのような思いの中で過すうちに、Nさんが最後まで闘った苦悶のうちにこそ、神は共

《み手のなかで》

極寒の中で

司祭 中村 邦 介

におられたような気がしてならない。Nさんは6人のパーティーでトレッキング中に、同行の2人の女性が滑落してしまい、しかも1人は足を骨折して身動きできない状況に直面したのである。そのため彼は直ちに救助を求めて山頂から連絡を入れ、そこでひたすら救援を待ち続けることになった。

極寒の中で強風にさらされつつ、最善を尽くしてその試練に立ち向かった彼の姿に、ハイキングではない、一番後ろから遅れがちな学生に寄り添って歩いていた情景が重なって見える。

今回の遭難事故においても、彼は最後まで彼らしく振舞い続けたのである。今夏、立教女学院関係者有志と一緒に唐松岳に登り、山頂付近で彼の追悼礼拝が出来たらと願っている。
(立教女学院院長)

▽教役者宿泊研修会

東京教区で奉仕する教役者を対象に聖職養成委員会の主催、「これから宣教課題を考える」をテーマに講師に西原廉太司祭らを迎えて6月22日(月)～24日(水)、富士箱根ランド・スコールプラザホテルで。参加予定35人。

▽西部地区教会連合チャリ

ティコンサート 聖ガブリエル教会を含む中野・練馬地区6教団教派催事「エイズと貧困に苦しむウガンダを支援して」。瀬田の丘ゴスペルファミリ出演。21日(日) 14時、カトリック徳田教会ⅡⅡ03(3991) 2101。協力券Ⅱ千円。

▽聖アンデレ教会 JAZZ コンサート 教会創立130周年記念行事の一環、恒例「教会に

JAZZが来た!」のチャリティコンサートで、27日(土) 18時開演。竹下ユキ&ビッグウイング・ジャズオーケストラの出演。当日券2千円・前売券千800円(全自由席)。チケット予約Ⅱ03(3431) 5038。

▽台東九条の会南部地区の集

い 講演会「憲法九条の未来を拓く」Ⅱ講師・小沢隆一(慈恵医科大学教授)、19日(金) 19時～20時半、浅草聖ヨハネ教会。03(3851) 9521。

▽立教大学チャプレン室「聖書に学ぶ会」講演会 対談「笠

原芳光×佐藤研」、20日(土) 14時～16時半、立教大学(池袋)12号館地下会議室。無料。照会Ⅱ048147117913(香山チャプレン)。

【クローズアップ】17

聖公会神学院

着任二年目を迎えて

日本海側のN市にK学園というキリスト教の高校があります。そのキャッチフレーズは、「自分探しの学校」。授業だけでなく、礼拝、労作、部活、寮生活などが生徒たちの「自分探し」につながるように配慮されているこの学校の教育に、私は深い共感を覚えてきました。

「自分探し」というこの学校の在り方には、大いに惹かれるものがあるのですが、しかしあえて、聖公会神学院は、「自分探しの学校」ではないと言いたいと思います。と言うのは、「自分探し」の一段階を終えて、宗教育家としての聖職を目指す者が、そ

の献身の意志を確かめ、固める場が神学院であるからです。「自分探し」ではなく、「神さまが主、自分が従」という生き方を具体的に身につける場であると言っても良いでしょう。

と言うと、何か暗い、固定的なイメージを持たれるかもしれませんが。しかし、神学院は本来修練の厳しさと同時に、夢と希望にあふれた、本当に楽しいところであると思います。少なくとも私が神学生であったころの神学院はそうでした。この3年間があったからこそ、牧師として働くことができたと言っても、過言ではありません。

昨年33年ぶりに東京へ出てきて、大変驚いたのは、東京教区の多くの方々が神学院を何か暗

《今、この教会では…》

浅草聖ヨハネ教会

毎主日、「日曜給食」と呼んで食に困っている方々にお弁当の配布を行っています。昨今の社会情勢の中、500食を越える日も多くなりました。「食」を欠く生活はなによりも不安でしかありません。日曜日にあそこに行けば必ず一食が得られる、そんな安心感をもっていただくためにも給食活動が続けています。活動の規模が大きくなるにつれて、残念ながら地域との摩擦も生まれてきました。6月中旬を一時休止して、地元の人たちと行政への共同申入れのことで話し合うなど、なんとか良い継続方策を関係者で模索しながら進めています。(土屋和則)

い、問題のある、大変なところだと思っているということですが。その中には私に理解できるものも、理解できないものもあり、そして心が重くなるようなこともしばしば耳にしました。

この4月、神学院は新たに導入したスピリチュアル・ディレクターを含め、新しいスタッフ体制で出発しました。課題山積ですが、私たちが主のみ心にそった働きができるよう、お祈りください。

そして、この学び舎に、聖職、また教会の奉仕職を目指す、アンビシャスに溢れた人々をたくさん送ってくださるよう、切にお願いいたします。

聖公会神学院校長

司祭 広谷 和文